

# 令和2年度事業報告

## 法 人

2020年1月、新型コロナウイルスの国内初感染が確認されて以降日本国中が混乱し今に至っているのは周知の事実ですが、当法人運営・施設運営にも大きな影響がありました。とにかく新型コロナウイルスの感染を防ぐことが第一の命題となり、「ふれあい祭」をはじめ、三密が考えられる各種行事は軒並み中止とし、陰にこもった活動しかできなかったように思いますし、感染予防対策に多くの労力と資金を費やすことになりました。

また、関連団体等の会議、イベントも中止となることが多くWEB会議が増えましたが、会議によってはネットの環境が良くなかったのか、中々上手く行かないこともありましたが、Web研修も増えてきましたが、中々受講が進みませんでした。

2年度の計画に上げていました厨房機器の入替、厨房業務の外部委託、老朽化によるエアコンの一部入替は予定通り実施することが出来ました。

## 役員会等開催状況

### 【 監 事 監 査 】

1. 日 時 令和2年5月22日（金）10：30～12：00
2. 開催場所 法人内会議室
3. 出席者 監 事 下津江 博 添田龍彦  
理 事 小田龍雄 中司 力  
木村英雄 小谷貴弘  
事務局 丸川美智子

### 【 理 事 会 】

#### 令和2年度第1回理事会

- 1 日 時 令和2年5月27日（水曜日） 10：30～12：10
- 2 開催場所 法人内会議室 広島市南区宇品東6丁目2-20
- 3 出席者 理事総数 6名 監事総数2名  
出席理事 6名（会長理事を含む。）  
会長理事 小田龍雄  
常務理事 小谷貴弘  
理 事 松本正則 中道佳子  
中司 力 木村英雄  
（欠席理事 無）  
監 事 添田龍彦 下津江 博  
（欠席監事 無）  
事務局 丸川美智子  
第4号議案・第5号議案 吉村 緑（栄養士）

#### 4 議題

- 第1号議案 「2019年度事業報告(案)、並びに収支決算書(案)、監事監査報告について」  
報告事項 「職務執行状況報告」
- 第2号議案 「任期満了に伴う評議員選任・解任委員選任について」
- 第3号議案 「空調機一部取替について」
- 第4号議案 「厨房業務委託について」
- 第5号議案 「厨房温冷蔵庫入替について」
- 第6号議案 「令和2年度第1回定時評議員会開催日時又は書面決議及び提案議題について」

#### 令和2年度第2回理事会

- 1 日 時 令和3年3月26日(金) 10:30~12:10
- 2 開催場所 法人内会議室 広島市南区宇品東6丁目2-20
- 3 出席者 理事総数 6名 監事総数 2名  
出席理事 6名(会長理事を含む。)  
会長理事 小田龍雄  
常務理事 小谷貴弘  
理 事 松本正則 中道佳子  
中司 力 木村英雄  
(欠席理事 無)  
監 事 添田龍彦 下津江 博  
(欠席監事 無)  
事務局 丸川美智子

#### 4 議題

- 第1号議案 令和2年度補正予算(案)について 法人の部 セルフ宇品の部
- 第2号議案 令和3年度事業計画(案)について 法人の部 セルフ宇品の部
- 第3号議案 令和3年度収支予算(案)について 法人の部 セルフ宇品の部
- 報告事項 1. 職務執行状況報告  
2. 令和2年度指導監査結果について

### 【評 議 員 会】

#### 定時評議員会

新型コロナウイルス感染予防から決議省略の方法により決議した

1. 定時評議員会の決議の決議があったものとみなされた日  
令和2年6月11日
2. 同意者(評議員総数7名)  
佐藤勝美 松原茂美 上村昭子 槇原五郎  
塩崎睦典 真倉初恵 堀江忠義

【 議 題 】

決議事項 第1号議案 2019年度の計算書類及び財産目録承認の件

報告事項 事業報告の件

【関連行事等（他団体関連含む）】

月 日	内 容	場所等	参加者
4月1日	辞令交付	法人内会議室	職員
4月10日	県陸上競技大会臨時実行委員会	グリーンアリーナ	会長
4月21日	県身体障害者施設協議会役員会	県社会福祉会館	小谷
6月20日	エアコン入替工事	食堂・軽作業科	—
8月20日	ふれ愛プラザ20周年セレモニー	シャレオ	小谷
8月27日	日本身体障害者福祉大会実行委員会	県視聴覚センター	会長
9月7日～9日	厨房機器入替工事	セルプ宇品厨房・食堂	—
10月7日	団体連理事会	市総合福祉センター	会長
10月26日	ロータリークラブ贈呈式	セルプ食堂	会長・職員・利用者
11月1日	あいサポートアート展スタッフ	県立美術館	小谷
12月14日	広島市実地監査	—	—
12月14日	市指導監査	法人内会議室	—
12月17日	特定建築物検査	全館	—
12月17日	県障害者施策推進協議会 Web 会議	法人内会議室	会長
12月18日	県自立支援協議会 Web 会議	法人内会議室	会長
3月12日	県障害者社会参加推進センター身体障害者部会	県聴覚障害者センター	小谷
3月25日	県自立支援協議会 Web 会議	法人内会議室	会長

令和2年度心身障害者(児)福祉推進啓発事業報告

事 業 計 画				
区 分	目 的	実施年月日	開 催 場 所	参加人員
広報活動事業	広報紙の発行により社会福祉法人広島県肢体障害者連合会の活動状況を関係団体及び関係機関に広報する。	1回発行 200部	—	1回 200部
幹部研修	各市福祉協会の幹部	役員会	法人会議室	

事業	指導者の資質の向上を図り、連合会組織を充実させる。	2年5月 3年3月		18名
	資料「障害のある人々の福祉」	施設職員		12名

## 障害者支援施設セルプ宇品令和2年度事業報告

令和2年度当初は職員が中々定着せずに気をもみましたが、11月からようやく安定してきました。

しかし、新型コロナウイルスのため、ふれあい祭等の施設行事、小学校や幼稚園からの見学・慰問、外出の制限等で利用者の方の楽しみが軒並み中止となり、皆さん窮屈な思いを強いられることになりました。

そんな中、職員が中心となりロータリークラブ様よりご寄贈頂いたポップコーンマシンや焼き芋機を使用したり、「3密」に留意したプチイベントを数回行ったため、皆で楽しむことが出来ました。イベント回数では例年より多かったのではないかと思います。

作業面ではやはり新型コロナウイルスの関係で、店頭での物販に関する作業の減少が顕著で工賃も低迷しましたが、2年度は職員の工夫と努力で何とか持ちこたえられたという印象です。

新型コロナウイルスですが、職員の家族が濃厚接触者となった例が2件ありましたが、何れも感染はしておりませんでした。

施設での対策としては、マスク着用及び手指消毒の徹底、日々館内の除菌と全員の検温、換気の徹底、隔離部屋での流れの説明会、隔離部屋の出入り口に取り付けグレーズンを作るキットの考案及び製作、利用者の方への外出制限、一部通所利用者の方の通所時間の変更、来場者の検温、来場者名簿への記入、面会の制限、部外者の館内立入の制限等行っており、2年度は感染者が出ずに済みました。

### 【就労継続支援B型】

#### 【統合科・木工科】

#### 令和2年度 総括 統合科

- 目標にしていた年間198万円を超える事が出来ず、令和2年度は年間187万円、目標に対しては-10万円であった。やはりコロナの影響も大きくエッセンスの数が減ってしまい、その分工賃が下がってしまった。しかし、バドショップのシール貼りの作業をもらう等し、なるべく工賃が下がらないようにした。また、夏祭りや焼き芋販売なども行った。
- 新しい作業としてブックオフの古着の値付け+サイズ分けの作業を行う様になった。まだ作業量が増えていない状況であるが、来年度も継続して行って行きたい。
- 灯籠、しめ縄の作業に関しては昨年度の個数よりもこなす事が出来たので、来年度も増やしていく。
- 大和の作業に関しては新しい作業があると2件、依頼があったが見積書を出す等行ったが連絡は無か

った。また大和の作業もコロナの影響で作業量が少し減少したが、折る段ボールの作業を沢山頂く事が出来たのであまり影響は無かった。

### 【軽作業科】

【紙袋の持ち手付け・ボールペン組立、筆記・製箱・エコロジパコ組立・オレンジリボンの作成・網戸貼替え・文書の三つ折り、封入、自動販売機の販売、カフェの実施等】

令和2年度は、新型コロナウイルス流行によって2~3ヶ月袋の仕事が止まってしまったので減収となった。他の仕事や新しい仕事を積極的に受注のお願いをするも受注はほとんどなかったため、新型コロナウイルス感染対策をしてカフェを行うことで工賃維持と利用者さんの楽しみに繋がった。

机や自具の変更によって不良品を出したこともあったため、今後は材質等を確認して取り組む。

令和2年度工賃実支払い 1,356,558円（前年度比マイナス1,059円）

### 【印刷科】

令和2年度の工賃支払い額は、前年度比741,527円のマイナスとなった。

これは前年度プール金の支払いが多すぎたためであり、例年と比べると大きな減収となっているわけではない。

次に印刷科利用者の中で中核となって作業を行っていた方が令和3年1月より現場復帰が難しくなった。

中核の一人が欠けたことで繁忙期の年度末は他の中心のメンバーに負担が大きくかかったり、新しい名刺カッターを使いこなせない人が個人によって能力差があるので、気をつけて見ていく必要がある。

次にバックアップは定期的に行っていたが、その日の自動バックアップシステムではなかったため、年度末の繁忙期にメインのパソコンが使えなくなってしまう事態となった。

令和3年度の目標としては自動バックアップのシステムを作り、緊急時でも対応できるようにしていく。

利用者の方の技術力を高め、印刷科はどうしても繁忙期とそうでない時の仕事量が全く違うので、閑散期にしっかり技術力を上げる取り組みをしていく。

令和3年度の問題ではないが、印刷科の今後の大きな問題として、現在使用中のプリンターが2024年の2月で保守契約が切れる。その時にウインドウズXPに対応したプリンターが購入出来ない可能性が高い。その場合は現在のパソコンからプリントアウトが出来なくなる。また新しいパソコンを導入して行う場合は、イラストレーターなど高額なソフトも購入しないといけなくなる。どのように作業を進めて印刷していくか全体的に印刷科のシステムを検討しなければならないことがある。

### 【掃除部】

今までは2人が休んで職員が掃除をされても工賃は発生していなかったが、各科の工賃アップを目指すために2人が休んだ時、掃除をされた職員の科に工賃支給し、各科の工賃アップにつなげるようにした。また令和2年はコロナ禍により感染予防の為、2階の手すり・居室のドアノブの消毒を増やし、コロナ対策に強化した。

令和2年は2人とも長期の休みもなく、少しずつではあるが休みは減ってきているので、今後も体調面・精神面に気を付けながら体調管理し、休みを減らしていけるようにする。

### 【木工科】

支払い工賃目標額	¥1,152,000
令和2年度支払工賃総額	¥1,153,491
目標達成率	100.13%

令和2年2月より職員3名で統合科と木工科を担当する形を取ってきたが、木工経験者がおらず、作業面は主に施設長でその他を職員が賄ってきた。

令和2年度授産収入売上目標2,200,000円に対して売上は2,124,525円。目標達成率は96.5%と未達成だった。未達成要因としては、生産には職員も携わらないと数がこなせないが、施設長が1日中携わることはできないため、生産量が上がらなかったことが大きい。

また、年末に新たな販売販路を求めキャンパスへの出店を予定していたが、新型コロナウイルスのため中止となった。来年度もコロナの影響は残ると思われるので、新たな委託先の開拓が必要である。

SNS(インスタグラム)の更新を始めたので、今後も新商品などを定期的に更新し情報提供・新たな販路を見つけていきたい。

広島市100歳記念時計の製作については、例年よりも早目に取りかかることができていたが、6月以降他の仕事と重なりスピードが遅くなりギリギリの完成となったり、同梱する文章に誤字があり、今更ながら納品前の再確認の必要性を感じた。

来年度より担当職員が専属1名に戻るので納品に間に合うようにスケジュールを立てて計画的に取り組んでいきたい。

## 【生活介護】

### 令和2年度目標

障害、加齢や特別な疾病により、自立した生活が困難になった利用者に対して個々の状態に合わせた計画を元に、食事・入浴・排泄・更衣・移動等の日常生活上の介護及び日常生活の中での心身の機能訓練を行う事により機能低下を防ぎ、安心と尊厳のある生活を、利用者その有する能力に応じ可能な限り自立して営むことができるように支援・介護する事を目標とする。

### 1年間の出来事

- ・4月～コロナウイルス感染対策を開始
- ・通所生活介護：在宅支援実施（在宅ワーク提供）
- ・施設行事の集団行事を調整  
(夏祭り・軽カフェ・カキ氷・デザートパーティ・ポップコーン芋販売・ぜんざい会・クリスマスプレゼント会)
- ・9月厨房業務委託へ変更に伴い食事内容の調整（ソフト食からムース食へ切り換え）
- ・通院の調整／しまもと医院往診開始
- ・各自居室での転倒（原因：立位のバランスが崩れる、めまい、体幹の機能低下など）
- ・田島医院 コロナによるリハビリの中止
- ・保護者の癌治療の入院による通所利用者：入所体験実習 1週間×2回実施
- ・ADLの低下により座位が取れない事より業者へ相談の上で車椅子の調整
- ・腎不全のよるカテーテル装着開始 → カテーテル閉塞による腹痛。確認を実施
- ・通所利用者：コロナによる退所
- ・知的障害の利用者へわかりやすい説明（自閉症への配慮・日課、ルールの説明等）
- ・排泄グッズの検討／サイズの検討
- ・避難訓練
- ・コロナ感染予防の為、外出、外泊の調整（同行支援中止・代行実施／H氏自転車購入）
- ・敗血症による県病院への入院
- ・体調不良（発熱・腹痛）／筋力低下／ADL低下／失禁／水分促しなど  
→日々の小さな変化を職員で共有し、早期対応を行う。（支援再検討）
- ・感染症対策 秋～冬（加湿器・保温・室温調整）／うがい、手洗い、除菌の徹底

### 評価

今年は、コロナウイルスの流行によりこれまで当たり前できていた暮らしは一遍し、生活が変化した1年だった。生活介護の利用者の方は重複障害がある方が多いので、コロナ対策のルールが理解できない方も多く、「なぜマスクをするのか。」「なぜ行事が出来ないのか。」「なぜ、お話ししてはいけないのか。」「なぜ人の多いところに遊びに行ってもいけないのか。」「なぜ外出制限があるのか。」「なぜ熱を測るのか。」など制限や支援変更に対して何度も説明する必要が多かった。“豊かな生活が過ごせるように調整”のサービス提供を掲げてきたが、重症化のリスクのある生活介護の利用者は特に外出については注意を払った。その代わりに、コロナに配慮した施設内行事を行う事で利用者も楽しそうに参加されていた。また、特に食事に関するイベントは食事制限がある方が多いので、各自利用者の食形態に合わせ精神的配慮を行いながら提供を行った。

長年お勤めされた通所利用者1名が退所された。本人のコロナへの恐怖・精神的不安、ご家族の負担などからこのような形になった。各利用者の精神的ケアも引く続き行っていく。年を重ねADLの低下による日々の変化が目まぐるしいので、早期発見し職員で情報を共有し、今現在のADLの維持を目標に支援を検討していく。

“他職種間連携のチームケアの実践”を今年度は特に行う事が多かった。保健、給食、職業支援ともより良いサービスを提供出来るように常に共有し支援検討を行っていく。また、今年度は介護技術の向上を目指し、施設内で介護技術の勉強を行った。わからない事を分からないままにしない様に、職員の意識を向上できるように今後も実施していきたい。

コロナウイルス対策の為、令和3年度も制限ある暮らしを強いられるが、利用者それぞれに課題に目を向け個別支援に沿ったサービス提供を行い、快適に生活をして頂けるようにしていきたいと思う。

## 【 保 健 】

### 1、 利用者の健康状態をデータ入力し情報を整理する

平成30年から行っている入所利用者の医療情報の整理を継続して行った。入所後の経過を含めた既往歴等の基礎情報を整理した。

入院時には、これまでに作成した情報に必要な内容を加えるだけでサマリーが作成でき、非常に便利だった。また、救急搬送時に救急隊へ情報提供する際、必要な情報が整理されているので速やかに報告ができた。

入院や疾患が発生した時にはこまめに情報を加えるようにして積極的に活用して行きたい。

### 2、 健康管理

#### ① 健康診断

春と秋の2回実施した。

春（令和2年4月～6月に実施）

内科診は、しまもと先生の往診時に実施し6月の1ヶ月間をかけて行った。

新しい疾患の発生無し。

秋（令和2年9月～12月に実施）

内科診・心電図・胸部レントゲンはしまもと医院で実施し、3ヶ月かけて行った。

血液検査で膵臓の数値が超異常値だった利用者がいたため、主治医に報告し必要な検査を受けることができた。

職員の健康診断は総合健診センターへの委託を継続して行った。夜勤者は2回実施し、職員も特に大きな病気を発生した者はいなかった。

#### ② 歯科検診 訪問歯科(デンタルサポート)診療の継続

毎週木曜日に訪問歯科(デンタルサポート)に来場して頂き、診察を行った。

毎年8月に実施している歯科検診も訪問歯科(デンタルサポート)に依頼し実施した。入所利用者については、1名を除き全員が定期診察を受けている。健診の対象者は通所利用の希望者



のみ11名だった。診察結果については、歯科医師の指導内容が書かれた用紙を保護者に向けて発送した。

### ③ 体重管理

肥満傾向の利用者6名を対象に、年間2kgを減量することを目標に吉村栄養士と共に指導と食事調整の取組を行った。6名全員が体重の増加無く経過した。

肥満により疾患の悪化や機能低下が見られる利用者を「ダイエット組」として管理している。

2週間に毎週測定を行った。大きな増減が見られた利用者はいなかった。

目標体重前後を維持できるように今後も継続が必要。

### ④ 受診付き添い

受診管理表を使用しながら、件数をこなせるよう管理をして実施した。

令和2年春にコロナウイルス流行が始まり、感染予防対策として島本先生の往診が令和2年4月から始まった。毎週火曜日の14時半から実施。16名の利用者を診察して頂いている。

毎月の受診件数が16件往診になったことで、受診付添いの負担が軽減された。看護師2名で毎月の受診と施設内の業務を並行して消化できるように今後も調整が必要。

### ⑤ 処置

定期浣腸が3名いる事、また、他の処置を含めて処置量が増加している。

K.MさんのADL低下が起きた後、自然便を排泄できなくなっている。平松病院退院後に定期的に浣腸が必要か検討が必要。

### ⑥ 薬の管理

マニュアルを遵守し、誤薬の事故予防に努めた。他者の薬を誤薬させるという事故は無かった。

嚥下障害がある利用者は、医師の指導に従い服薬の形も変更している。Y.Aさんが粉碎の指示が出ており、指示通りに処方された物を服薬させることができた。

今後も、機能低下・認知機能低下が出現した時は服薬管理の形も検討することが必要。

### ⑦ 往診サービス

コロナウイルスの流行が拡大し、非常事態宣言が出た令和2年3月から、しまもと医院 島本先生の往診が始まった。感染予防対策を目的として現在も継続している。月に16~20件の受診が往診に変わったことで、受診付添い件数が減った。その分、施設に看護師が2名滞在中の時間が増え、増加傾向の処置や他疾患で追加となった受診付添いができるようになった。

コロナ終息後も往診を継続して頂くように依頼をしたいと考えている。その他、これまで往診をして頂いている。精神科：脳外科：皮膚科：歯科の往診も継続できた。

### ⑧ リハビリ

田島医院のリハビリが再開したら、再検討を行う予定だった。しかし、コロナ対策としてリ

ハビリを閉鎖され、訓練士さんも退職されて再開の目途が立たなかった。

電気治療のみ受けて下さると返答はあったが、感染予防対策として不要な受診は中止していたため、田島医院での電気治療も中止したままとなっている。

機能低下予防の為、M.Gさんの施設内リハビリを主任に継続して行ってもらった。

#### ⑨ がん患者の支援

抗がん剤治療中の利用者については、一時食欲低下や骨髄抑制の副作用が強く出た。しかし、治療が追加され症状は改善した。また、変更された抗がん剤が非常によく効いており、副腎に転移したがんも時間と共に縮小してきていると説明があった。胃がんの再発も無い。体調も落ち着いており、感染症にもかからなかった。作業参加もできており、生活レベルの低下は見られていない。しかし、下肢筋力の低下が顕著で、転倒が頻回となり車椅子を使用するようになった。片麻痺がありながらも杖歩行ができていたのに、現在は歩行困難の状況になった。立位や移乗の不安定さも目立ち、転倒が頻回に起きている。移乗練習をして転倒予防に努めているが、本人の性格から慎重な行動をめんどうくさがる一面があり、動作が雑になって転倒することが続いている。転倒による事故が起きれば、ADL低下が起き、全介助に移行してしまうかもしれない。健康状態は保たれているので、転倒予防対策を継続しながら対応していきたい。

### 3、 感染症対策

今年もインフルエンザワクチンの集団予防接種を令和2年11月19日に行った。接種した対象者は合計で92名。利用者の接種費用は施設に負担して頂いた。

しまもと医院の協力があり、1時間以内で完了した。今後も施設での集団接種を依頼し継続していきたい。

今年はコロナが流行したため、感染症対策が1年を通して行われた。マスクの着用と手洗いの励行を基本として呼びかけと共に実行した。そのおかげか、風邪を引く利用者は無く、コロナ感染を疑う事例も起きなかった。インフルエンザの感染も無かった。

コロナ対策として、感染疑いのある利用者が発生した時のマニュアルと感染症部屋の作成を行った。また、感染部屋の対応について、デモンストレーションを2回行った。引き続き感染症予防対策を実行していきたい。

<コロナ感染予防対策の実施内容>

- ・ 毎朝、検温の実施
- ・ 利用者・職員全員にマスクを着用
- ・ 手洗いの励行
- ・ 体調不良者の早期発見・早期治療
- ・ 風邪症状のある利用者の隔離対応
- ・ 館内消毒の実施
- ・ 食事の席のシールドを貼り、席間隔を開ける。昼食2部制の継続。
- ・ 施設行事の中止
- ・ 外出回数・時間の制限
- ・ 面会の制限
- ・ 往診を積極的に利用

- ・体調の変化が無い時は、処方箋のみを発行してもらい、不要な病院受診を避ける。

#### 4、 その他

##### ① 送迎業務の分担について

受診付き添いの必要が無い送迎は、生活支援員の協力も得ながら実施していった。

##### ② 物品管理・衛生資材管理

感染症の流行や災害時に備え、トイレトペーパー・ペーパータオル・養生テープ・マスク・手袋・アルコール液の定数を設定し備蓄をすることをを行った。

マスクと手袋の値段が高値になり、特に手袋は2.5倍の値段になってしまっている。支援上必要な物品なので、欠品にならないように注文せざるを得ない状況にある。エンボスの安価の手袋と高値のプラスチックグローブを使い分けてもらうように職員間に依頼し、できるだけ安価の手袋を使うように工夫をした。

##### ③ 散髪支援・爪切り支援

コロナ禍ではあるが、整容の機会を失ってはいけないと考え、きかん坊とハーブヘアの散髪支援は継続して行った。両社には来場前に健康チェックと体温測定を依頼した。会場は広いスペースが取れる多目的室を常時使用した。ハーブヘアにおいては、密な接触を避けるためカットのみの施術に制限されている。それでもハーブヘアを希望する利用者は減らなかったため、今後も継続して頂くつもりである。

##### ④ リネン管理

年2回の布団・枕交換を実施した。コロナ対策として予備の布団を多めに確保し234号室に保管した。

### 【 給 食 】

2年度の給食事業について大きい案件として、業務委託とリヒートウオーマーの入れ替え工事があった。

9月厨房業務を株式会社ラフに委託、同月温蔵庫等をリヒートウオーマーとパッスルー冷蔵庫に入れ替え工事を無事に終えることができた。

業務委託に関しては、充分引継ぎを終えたつもりであったが色々問題点があり業者と調整を続ける状況が年度後半まで続いた。ラフが受託先にサ高住・特養などがあったが実際には身体障害者施設が初めてのこともあったが、会社が急激に大きくなったことからハード面が追い付いていない状況が見受けられた。

献立や使用食材についても単一・既製品使用がほとんどであり、試食会やヒアリングからは確認できない面が多く判明。苦言や助言を伝えることが多く、ラフからの提案で月数回の定例ミーティング・月1回の給食会議で献立調整をすることにした。

実際セルフから移行したメンバーの3名が3月までに退職し、現在1名のみになっておりラフスタッフの入れ替えも頻回でスタッフが固定できていない状況である。慣れたところに退職や移動等があり業

務における周知・徹底が充分にできていない状況がまだある。

サービス面での質の低下は防ぎたい為、時間はかかるが調整を継続している。4月に入り漸くラフとのやり取りがスムーズになり委託当初より落ち着いてきている。

イベント等に力を入れているのがラフの強みであり、実際4月の寿司会イベントにはかなり力を入れ取り組まれており、コロナ禍で行事などの実施が難しい中ではあるが制限内で開催できたことは良かった。

リヒートウオーマーの入れ替え後、温冷の切り替えができる事や保温温度の維持が充分できとてもよかった。ただ利点の事前盛り付け後の加熱などの運用まではできていない、ラフの実情では難しい面があると判断している。当初盛り付け場所や食堂内の予備台など検証不足ではあったが、配膳カードを追加することで回避できている。今後厨房内での予備台などは検討が必要である。

利用者の高齢化、喫食状況の変化、身体状況の変化による食器や食事時間も含めた検討が多くなり、個別対応が増えた。特にムース食の利用者の増加、食事介助に変更になった利用者があったことが今年度大きい変化であった。今後食形態の変更が増えてくることが予想される。

11月に食事種別を整理しトレイ色分け変更を行った。ムース食(嚥下障害・身体上の理由)

糖尿病食・減塩食・普通食に変更。現在ラフに糖尿病食・減塩食の対応が可能か問い合わせをしているが難しいのが現状である。令和4年に工場稼働の予定でとのことでその段階からの実施可能ではないかと推測している。

補助食品の添加対応や食事指導や栄養相談など利用者ごとの対応が増えている。特に糖尿病の治療で間食改善の指導などが中心。自由な外出と周りの環境が便利であることから、間食がやめられない利用者もいる。又病識が低く理解が難しいのが現状。食事以外の摂食状況が掴みにくいため、他職員の情報や生活状況から把握するようにしている。

体重管理者は継続しており、主食量等の調整を行い少しずつ減量傾向にある利用者が増えた。引き続き生活背景も含めて考え生活習慣の把握をする。

食材費(給食費予算)については、2年4月から8月までナリコマを利用。コロナの為食事停止者減り喫食率が上がり購入数が多くなり費用比率は上がった。ラフとナリコマの大きい違いはナリコマの場合工場調理の為パッキング資材の費用や配送料も契約単価に含まれるため、内容としては実地調理のラフと食材原価に差がでる。

4月から8月までは185万~190万になり予算をオーバーしてしまった。

9月ラフに切り替えしてからは150万~160万で推移。当初150万以内で予測していたが献立使用食材が少ないことや蛋白質不足の為、肉重量アップ・小鉢重量調整・牛乳補填などで追加金額が発生。最終3月が170万でトータル予算を20万超える金額で2年度を終了した。

次年度においては、小鉢量や調整金額を考慮し日額契約金額を30円上げることになっており、2年度に反省を踏まえ調整をしていく。

厨房内の備品については、ムース食調製に使用するミキサーが家庭用の物の為数か月で買い替えている。次年度業務用に切り替えるかは検討が必要。4月時点で厨房内のエアコンが故障しており3年度修理か買い替えの必要が出てきている。

検品室の冷蔵庫が一番古く保守もかけていないため、次年度か再来年度での買い替え案件となっている。

洗浄機とブースターも入れ替えして10年が経過。4年からは保守期間を外れるため修理の場合部品代等の負担が生じる。4年度で買い替えの検討が必要になる為、次年度2件の見積もりをとり検討をす

る。

次年度食品衛生法の改定により衛生管理の徹底が求められる。現状衛生面で不安があり、ラフに対しても指導・助言の必要性が大きい。責任は受託先にあるとしても施設側としての管理は当然であり重点的に見ていくことが必要。

業務委託に切り替わり内容や質の低下は仕方ないとしても、利用者の安心・安全・美味しい食事を基本に工夫をしていくことを、委託先と共通認識として内容の充実をはかるよう次年度も継続する。適温提供についてはまだまだ課題があり助言は続ける必要がある。

コロナ禍で感染拡大は継続の為、今年度の反省も踏まえ制限中の行事開催も含め充実度を上げる。利用者の変化にも迅速に対応し各部署との連携を図り業務にあたっていきたい。

## 【セルフ宇品各委員会】

1. 運営委員会（施設長・事務長・主任支援員・生活支援員） 毎月1回開催  
・主に法人、施設の運営に関すること
2. 作業支援委員会（主任支援員・各職業支援員） 毎月1回開催  
・各作業に関すること。利用者対応に関すること。
3. 生活介護保健委員会（生活介護主任・主任看護師・看護師） 毎月1回開催  
・生活介護部門の利用者に関する、生活や保健に関すること
4. ヘルシー委員会（栄養士・看護師・生活支援員） 毎月1回開催  
・主に食事に関すること。体重管理に関すること。
5. 防犯防災委員会（7名の選抜メンバー） 毎月1回開催  
・防犯、防災に関すること。施設整備に関すること。
6. 虐待防止委員会（全職員） 年1回実施  
・虐待防止、差別禁止に関すること。

これら各委員会の報告を主にした職員会議を毎月1回行っている。

### 【その他会議】

- |                  |    |
|------------------|----|
| 個別支援計画策定会議（関係職員） | 随時 |
| ケース会議（関係職員）      | 随時 |

緊急性のあることについては、毎朝のミーティング時に話し合いを持っている。

## 【障害者支援施設セルフ宇品事業経過報告】

月 日	内 容	場所等	参加者等
4 月	春の健康診断採血・検尿（4日間）	多目的室他	利用者
6月6日	ベイシティグリーンロード会議	法人内会議室	小谷・木村
6 月	春の健康診断内科診（4日間）	多目的室	利用者
6月10日	夏布団交換	寮	—
6月27日	ベイシティグリーンロード活動	中広宇品線歩道	職員・利用者
7月27日～	学生実習1名（8月11日まで）	各科他	—
8月11日～	学生実習1名（8月26日まで）	各科他	—
9月9日10日	秋の健康診断（採血）	保健室	利用者
10月13～15日	利用に伴う入所実習	寮	1名
10月14日	冬掛け布団交換	寮	—
11月9日～	利用者入所体験	寮	1名
11月28日	自衛消防訓練	施設内	職員・利用者
12月22日	クリスマスプレゼント会	食堂	利用者
12月23日	冬敷布団・枕交換	寮	—
3年2月9日	デザートバイキング	食堂	利用者
2月27日	ベイシティグリーンロード活動	中広宇品線歩道	職員
3月23日	自衛消防訓練・防災訓練	施設内	職員・利用者